安倍政権による 憲法９条改悪を許しません！ 戦争をする国にはさせません！

みんなで力をあわせ、一日も早く新型コロナウイルスの感染を止めましょう！

憲法は私たちが国家権力をしばるもの

安倍首相は、今年の年頭記者会見で「憲法改正を私自身の手で成し遂げていくという考えには全く揺らぎはありません」と述べました。憲法擁護義務のある首相自らがこうした発言を行うことは憲法違反ではないでしょうか。憲法というのは、私たち市民が個人の権利や自由を守るために国家権力をしばるものです。安倍首相の個人的願望で憲法を変えることは絶対に許されません。

安倍首相は新型コロナウイルスの感染拡大に乗じて、「緊急事態条項」を設けるための改憲の議論をするよう呼びかけていますが、改憲論議よりも国民の命を守ることが緊急の課題です。新型コロナウイルスの感染拡大を改憲に利用しようとする態度は断じて許すことができません。

自衛隊員の命を守れ！

アメリカによるイランの司令官殺害と、それに対するイランのミサイル攻撃というショッキングな出来事が起き、中東情勢が緊迫しています。そうした中東に安倍政権は自衛隊を派遣しました。それも国会での審議は一切なく、安倍政権得意の閣議決定で決めました。「国会は、国権の最高機関」と憲法 41 条は定めていますが、安倍政権はあまりにも国会を軽視、無視しています。もし中東で、アメリカとイランの間に武力衝突が起これば、自衛官だけでなく、罪のない市民が巻き込まれ、多くの命が奪われてしまいます。一刻も早く派遣を中止すべきです。

ウソや隠ぺい、そして改ざん、もういい加減にしなさい！

森友・加計学園疑惑、そして「桜を見る会」、検察庁法無視の東京高検検事長の定年延長問題、共通しているのは、安倍首相による政治の私物化です。官僚たちは安倍首相にそんたくし、文書の改ざんや廃棄をしたり、ウソまでついています。文書改ざんを強要され自死した財務省職員の手記が明らかになりましたが、改ざんを指示した人たちは誰も責任をとっていません。「すべて公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない」と憲法 15 条は定めていますが、官僚の人たちは、公務員としての誇りはないのでしょうか。国民のために、すべてを明らかにすべきです。もういい加減にしてほしいと国民は怒っています。

アメリカと一緒に戦争をする国にはさせない！

2015 年の「安保関連法」強行成立以降、日米の軍事一体化がますます進行しています。自衛隊が、アメリカ軍の下請け機関化しています。沖縄では沖縄県民の反対の声を無視してアメリカ軍のための辺野古新基地建設を強行しています。このままでは、日本はアメリカと共に戦争をする国になってしまいます。私たちは絶対戦争をする国にはさせません。また、そのための改憲発議を断じて許しません。「安保関連法」を廃止し、不平等な日米地位協定を改定し、平和憲法をみんなの力で守り抜きましょう！

『命令に従う』 ダニー・ネフセタイ

私は 1957年イスラエル生まれです。私の小学校の校庭には戦闘機が置いてありました。

古いプロペラ機でしたが実際にイスラエル空軍が戦争に使っていたものです。

6才から毎日この戦闘機を見て育った私は徴兵制により 18 才でパイロットになる夢を持ち空軍に入隊しました。

1976年4月1日。夢に向けての第一歩を踏み出しました。ジェット戦闘機の初一人飛行。一人乗り 20 回、ガイド付きを 60 回飛ばした後、最終的に私は戦闘機のパイロットには向かないとされ、空軍内の特殊レーダー部隊に移されました。

子どものころからの夢が一瞬にして崩れました。悲しい日々が続いていたのは今でも覚えています。

同期の仲間はパイロットになりました。本当に羨ましかった！

3年の軍隊生活を終えてアジア旅行に出かけ運命の出会いによって日本にとどまりました。

仲間の戦闘機パイロットたちはあれから様々な場面で参戦し、人によってはレバノン人、パレスチナ人の家に爆弾を落としました。子ども、女性、お年寄りも沢山殺した仲間がいるはずです！

しかし・・・私は彼らと一緒に 1 年以上を過ごし一人ひとりをよく覚えています。

彼らの中に“鬼”もいないし“酷い人間”もいません。一人ひとりは人間味のあるすばらしい人でした。

すばらしい人たちがなぜ子ども、女性お年寄りを殺せるのでしょうか？

答えは一つです。

これが戦争です。

戦争ではどんなすばらしい人でも簡単に人を殺せるようになります。

仮に私が戦闘機のパイロットになっていたら私も一般市民の家に爆弾を落としたでしょう。

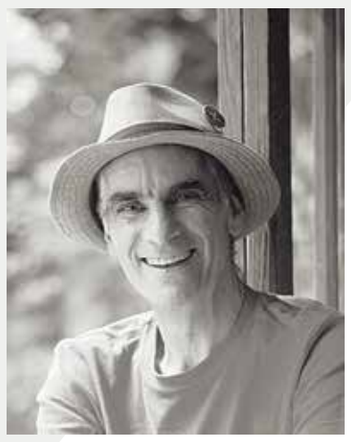
19才の私は命令に従う人間でした。例え人を殺す命令でも！

この記事を読んでいる人のお父さん、おじいちゃん、曾おじいちゃんも 75年前アジアで同じ命令に従ったのでしょう。

これが戦争の現実です。これが武力に頼る国家の現実です。

殺すか殺されるか。

私たちの子どもと孫に二度とこんな経験をさせたくなければ戦争を避けるしかないのです。



亀山ののこ　撮影

ダニー・ネフセタイさんプロフィール

1957年イスラエル生まれ。高校卒業後、徴兵制によってイスラエル軍に入隊。3年間、空軍に所属。退役後アジアの旅に出て来日。日本各地をヒッチハイク。その後神奈川の家具会社に勤める。1988年末、埼玉県秩父郡皆野町に居を構え、「木工房ナガリ家」を開設。自宅のログハウスを夫婦で自力建設。夫婦で注文家具、遊具、木工小物、社会性オブジェの創作活動に従事。個展、グループ展など開催している。

戦争をさせない埼玉県 1000 人委員会

◆呼びかけ人

伊藤　　修（埼玉大学教授）
長内　経男（市民じゃーなる発行人）
大日方　昂（千葉大学名誉教授）
片岡　明幸（部落解放同盟埼玉県連委員長）
鎌倉　孝夫（埼玉大学名誉教授）
小寺　隆幸（公益法人 原爆の図 丸木美術館理事長）
斎藤紀代美（外国人学校・民族学校の制度的保障を実現するネットワーク・埼玉）
坂本　洋子（ジャーナリスト）
佐藤　正八（共生共育研究所代表）
澁谷　晃次（憲法を学ぶ久喜の会事務局長）
高橋　哲哉（東京大学大学院教授）
田中　重仁（弁護士）
日森　文尋（朝鮮の自主的平和統一支持日本委員会議長）
本田　　宏（医師）
前田　哲男（ジャーナリスト）
村田　文一（狭山事件を考える比企地区住民の会事務局長）
持田　明彦（埼玉県平和運動センター議長）

〒330-0063　さいたま市浦和区高砂 3-37-5　埼玉県平和運動センター気付　電話 048-825-9898　FAX 048-825-9888　MAIL:info@saitama1000.com　URL:saitama1000.com

《個人、五十音順》

あ；相場克己、青木明兄、青山博明、赤羽厚子、秋山博昭、秋山博史、浅子裕紀、浅野毅彦、浅野真澄 浅原努、浅見勉、浅見文秀、浅見祐介、浅水新一、東真喜子、東道成、安倍正剛、安部東明、阿部保吉 新井晃、荒井昭、新井一明、新井晃一、新井弘三、新井志郎、新井真吾、新井千代子、新井利之、新井昇 新井守、新井裕太、新井幸雄、新崎昭博、荒畑正子、安藤道夫　**い**；飯島和弥、飯島啓史 飯田潔、飯塚光弘、飯沼友唯、飯村友唯、五十嵐勉、池田かつ子、池田健司、池田常夫 池田尚子、池田春菜、池田万佐代、池畑雄哉、池辺悠子、石井英子、石井喜久子、石井孝幸、石井敏郎 石井伸、石井真由佳、石下宏二、石垣敏夫、石川愛子、石川篤、石川享助、石川せい子、石川誠、石阪孝司 石坂良子、石澤のり子、石田祥広、石塚龍一、石橋咲子、石橋肇、井島伊三雄、泉名孝司、板倉聰 市川孝行、市川武夫、市川博美、市川米子、一ノ木勝、市丸勝和、市村きみ江、市村宣司、伊藤修、伊藤恵一郎 伊藤淳一、伊藤達也、伊藤俊広、伊東誠、伊東正安、伊藤三千夫、伊藤恭一、伊藤良子、伊藤善子 稲田旭修、井上祥太、井上尚志、猪塚玲子、今井弘行、今井洛、今井良子、今木恵子、今村知輝、岩上勝史 岩佐駿、岩佐実、岩崎和幸、岩崎正芳、岩田秀夫、岩本栞治　**う**；上沢征三、上田典男、植野由希恵 上野良夫、宇賀神陽樹、宇治義明、宇田川知克、内島順子、内田和也、内田貞明、内田智和、宇塚史明 宇津木弘、梅沢静江、梅澤祥次、梅沢博史、梅沢保江、梅山昌弘　**え**；江田秀夫、江面敏之、榎並智 榎本和孝　**お**；及川正三、笈田紫穂、笈田直樹、大網裕美、大居芳夫、大石航平、大川忠雄 大川道夫、大河原弘晴、大久保馨、大久保智、大久保忠三、大久保雅之、大澤晃、大澤直樹、大澤浩 大澤嘉彦、大柴サヨ子、大柴宏之、大島幸治、大島博、大城修一、太田のり子、太田博子 大竹将人、大塚修、大塚進、大塚貴裕、大野研吾、大野次洋、大野仁子、大野真希、大野正一、大野真由美 大野良夫、大庭和雄、大橋浩明、大橋義則、大平勝男、大前三樹夫、大山英治、大類章、岡真智子 岡崎鉄美、小笠原良知、岡島孝徳、岡島雪枝、岡田作次、岡田泰三、岡田剛、岡田正道、尾形忠嗣 岡野勉、岡部貞資、岡部里恵、岡本みち子、岡村敦、小川賢一、小川幸一、小川利晴、小川正子 小川満、沖田博、沖松信夫、奥貫光司、奥山貞三、奥山トシエ、小倉順治、小倉秀子、小倉美子、小此木繁 尾崎昌江、長内経男、長南克幸、尾島健治、尾島由利江、小鷹恵子、小高佳之、落合彰、落合宏、落合正史 鬼塚温子、小野勲、小野恭子、小野嗣朗、小野寺一規、小野寺勇一、大日方昂、大日方富美子、小見智子 小見勇三、織戸康夫、折原彰、折原和代、恩田光洋　**か**；柿沼邦子、柿沼繁明、柿沼忠和、柿沼幸雄 笠井輝一、笠松朗、嵩優子、梶田外治、梶田満里子、柏葉二三夫、笠本正、片岡明幸、片川久治 片嶋英男、勝部祐樹、勝部由香里、加藤秀顕、加藤富士雄、金崎英明、金谷敏揚、兼岡敏二、金子彰 金子望子、金子秀和、金子裕光、金子麻紀子、金子美樹、金子由美子、金田紘一、兼松禎久、椛沢昌敬 鎌倉孝夫、鎌田清、鎌原勝行、神尾正実、神尾泰之、神木和夫、紙谷修、神山悠紀子、亀井典子 亀岡タカ子、加来学、河井加緒理、河井勝久、川合正吾、河井倶江、河井好一、川上美智男、川上康正 川口久子、川崎基司、川島愛三郎、川島広実、川島幹雄、河田博、川津正男、川根眞也、川畑康剛 川原茂、川原タカ子、川辺かおる、川辺よしのぶ、川村一久、川村準、河村孝、川村朋子、川村訓史 河本茂行、神田朝光、神田紘子、神田光貞、神成邦興　**き**；菊里隆、菊地一成、菊地咲希、菊地聡 菊池貴広、岸孝志、木島あや子、北岡孝義、北川広和、橘井幸治、吉川政男、木戸和男、木村和世 木村真徳、木村敏光、木村洋一、桐谷保治　**く**；工藤廣一、窪勝海、久保田一、久保田亙、熊川多恵子 熊川幸男、倉持光好、栗城英子、栗島進、栗田政男、栗原邦子、栗原規昭、栗原久雄、車田光代、黒澤信幸 桑原和孝、桑原裕親　**け**；慶島譲治、剣持留雄、剣持政幸　**こ**；小池隆夫、小泉信、小出重義、小井土恭正 幸地俊明、合谷憲治、合谷史代、合谷竜一、國分政義、小久保信広、小久保晶良、越川求、小島佐知子 小島茂、小嶋達雄、小嶋敏子、小島正美、小菅貴広、小高まゆみ、小林いづみ、小林一己、小林勝代 小林幸司、小林精一、小林隆、小林哲也、小林秀樹、小林弘樹、小林真、小松千里、小松崎孝男、五味明大 小峯圭子、込山光廣、小森充、小森谷和久、小易聡史、小谷野孝雄、近藤光則、権藤俊司　**さ**；斎藤紀代美 斉藤ケイ子、斉藤修治、斉藤慶二、斉藤信夫、斉藤一、斎藤一、斎藤宏、斉藤由、酒井孝一、酒井幸一 酒井茂行、酒井松吾郎、阪上洋一、榊原靖雅、坂田美雄、坂本喜美江、坂本洋子、坂本好春、坂和優 鷲谷誠、佐々木俊二、佐々木敏夫、佐々木朝子、佐々木典子、佐々木正人、佐藤昭夫、佐藤あおい、佐藤悦子 佐藤薫、佐藤薫子、佐藤和江、佐藤一男、佐藤公子、佐藤堅、佐藤正八、佐藤征治郎、佐藤正、佐藤達夫 佐藤千寿、佐藤菜穂子、佐藤治子、佐藤秀実、佐藤文雄、佐藤昌己、佐藤光雄、佐藤守男、佐藤祐太 佐藤優太、佐藤芳春、佐藤幸雄、佐藤吉幸、佐藤嶺、沢田武司　**し**；椎名久和、篠原國雄、篠原幸子 篠原貞治、柴謙次、澁谷晃次、島正孝、嶋田和彦、島田康二、島田剛、島田ひろ子、島貫五雄、島村宣次 清水幸恵、清水弘、清水美恵、清水優衣、清水優里、霜鳥亘、下山田謙一、白田秀二、白石俊夫 白田真希、進藤敬子　**す**；周防和子、周防幹雄、菅沼俊哉、須川桂次、菅原鉄也、菅原政利 菅原誠、杉岡光明、杉田慎之介、鈴木昭彦、鈴木郁夫、鈴木栄司、鈴木恵美子、鈴木誠一 鈴木忠雄、鈴木利尚、鈴木俊美、鈴木紀夫、鈴木倫子、鈴木秀典、鈴木正士、鈴木康治、鈴木裕也 鈴木善博、鈴木冷子、須田高弘、須永規彦、須永よう子　**せ**；関淳子、関貴之、関岡久美子、関口一夫 関口賢、関口武雄、関口はつ子、関口正人、関口秀雄、関根孝、関根ちず子、関根英樹、関根美穂 関谷麻智子、瀬崎知明、仙田京子　**そ**；外戸口光男、園サトル、そめや良作　**た**；田井慎悟、台和良 大槻佳孝、崇島昭和、高瀬金弥、高田浩司、高田信雄、高田英明、高田正人、高谷綾子、高槻毅、高野勇元 高橋明子、高橋永治、高橋一信、高橋一政、高橋究、高橋正平、高橋卓美、高橋剛、高橋俊子、高橋トミ 高橋友三郎、高橋宏也、高橋正大、高畠栄、高林正廣、田上久夫、田上久子、多ヶ谷長喜、高柳孝一 高柳俊哉、高山真樹、高山昌久、宝井孝子、滝口けい子、瀧澤成光、田口泰之、武井久美子、武井恒和 武井芙由子、武井誠、武井真人、武井真澄、武井道子、竹井侑子、武内暁、竹内恵子、竹内良太郎 武川悟、竹澤敏光、武田信康、武田泰子、竹浪一導、田島公子、田嶋高治、田島晴彦、立野勇樹 建部欽久、田中昭子、田中和宏、田中憲治、田中成樹、田中重仁、田中貴之、田中照夫、田中久江 田中博、田中博和、棚橋寿郎、田辺淳、谷川春男、田沼隆之、田之岡真澄、田畑昌樹、田原広美、田原文子 田巻周子、田巻晴生、玉之内明徳、田村晶子、田村匡寿、田村幸作、田村陽子、為貝勇、田谷英浩 田原理一郎　**ち**；力石秀男、千葉守、千葉宗紀、千葉義浩、中條克俊　**つ**；塚越浩、塚越操、塚越由起美 塚田修、塚田信賢、塚田文子、塚田洋子、塚本裕彦、辻浩司、辻谷清江、土屋裕美 角田洋、鶴見崇啓　**て**；出井隆志、手島康雄、寺尾光身、寺門歩、寺島正希　**と**；東泉孝一郎、遠田仁之 外川美夏、鴇田明夫、戸叶英治、戸羽将太、戸谷匡志、鳥羽大河　**な**；長成紀、長井敬二、永井直子 永井信彦、中江慎一、長尾憲一、長尾清江、中里静雄、長崎昭文、中澤和夫、中澤正治、中澤安子 中沢康裕、中島郁子、中島修、中島一弘、中島淳二、中島利明、中島肇、中島真、中島美代子、長島和彦 中田南都子、中田英雄、永田浩司、中塚正夫、中根一雄、中野昭、中野京子、中沼良介、中町桂子 長峯友作、中村光一、中村敏枝、中村守、中村美恵子、中村行衛、中村由博、中山茂、成岡英一郎 南雲武雄、南雲正幸、那花篤史、浪江和子、浪江福治　**に**；新島昌子、新島清子、新島敏雄、新島光明 新堀栄、西沢俊次、西田立郎、西田豊、西村周造、西村敏雄、西山幸代、西山英夫、新田清輝、韮沢慶治 **ぬ**；沼尾浩二、沼尾孝平、沼尾信子、沼尻俊彦　**ね**；根岸大樹、根岸剛、根岸晴香、根岸操、根岸峯生 根岸由紀子　**の**；野口大貴、野口巳義、野口雄一、野田小百合、野田千香子、野中保志、野原賢次 野辺大樹、野呂多美子　**は**；芳賀聡子、萩原貴志、萩原ちづる、橋口千賀子、橋口竜弥、橋爪直光 橋本英子、橋本淳矢、橋本崇、橋本武朋、橋本正次、橋本武太、橋本睦、蓮見孝、長谷川功、長谷川修児 長谷川宣子、長谷部一郎、秦哲美、畠山真弘、羽鳥淳、服部富雄、羽田亮介、馬場勝彦、馬場秀明 林美智好、原武子、原田佐知子、半澤明利、半田清雄　**ひ**；日朝初郎、東征、樋口宗生、日森アサ 日森文尋、日森道明、日森靖子、平石恭宣、平岡忠司、平島照清、平島怜子、平田あつし、平田なみ 平野大夢、広重ウタ子　**ふ**；深澤貞次、府川幹夫、福島健次、福島俊史、福島雅勇、福本憲生、福本光子 藤井香代子、藤井千賀子、藤井由美子、藤城光政、福田保子、藤田晴久、藤浪成昭、藤波孝良 藤野好夫、藤間拓洋、藤村英子、船岡弘治、船岡トヨ子、船橋喜美子、船橋延嘉、降旗聡、古川喜八郎 古河邦子、古河誠、古橋政人　**へ**；逸見一也　**ほ**；保泉誠、保坂進也、保坂正人、星野幸男、細尾正美 細田亮、細田健一、細田重雄、細田三千子、穂積右一、堀内政宏、堀越弘宣、堀口邦子、堀本秀雄 堀本秀生、本多明朗、本田宏　**ま**；真家正人、前田哲雄、前原朝子、牧野正博、真下広生、増井清志 増田栄治、増田哲、町田章英、町田武俊、町田美津子、町分君恵、松浦治子、松浦靖英、松澤新、松澤悦子 松澤開代子、松澤聖、松澤章一、松澤新太郎、松澤亘代、松澤龍ヶ新、松下憲、松下しょうこう、松下美帆 松下美幸、松田隆弘、松本敦子、松本和喜、松本和延、松本恵輔、松本恵子、松本隼輔、松本翔 松本都久恵、松本実、円城忠文、間仁田香代、丸山健二、丸山巧、丸山道雄　**み**；三浦雄佑、三上寛 水田勇司、水野雅通、水村和敏、三田秀次郎、三井淳司、三岡茂夫、峯岸武雄、宮入晃、宮入弘子 宮崎勝彦、宮澤茂雄、宮嶋敏、宮田政男、宮原彬、宮原千佳子、宮本修、三吉勉　**む**；向井雪子 武笠正実、武藤加津代、武藤辰也、村石和重、村岡良信、村上正義、村田和仁、村田聡、村田修司 村田智子、村田文一、村田全史、室井克介、室田修吾　**め**；目時和枝、目時正守　**も**；茂木幸蔵 茂木文男、茂木祐太、持田明彦、持田朝光、持田葉子、望月照弘、本木実、本橋武志、森俊雄、森博 森芳紀、森下晶、森下鮎美、森下恵子、森下豊定、森下晴斗、森下道幸、森下八千代、森下優斗 森田惠子、森田博之、森戸田祐、森永留美子、森村正寿、森山薫、守家圭一、守屋徹、森山ななえ **や**；谷沢正子、矢島真樹、八代幸三、八代昌子、安本孝晃、八ツ田政男、柳義治、柳澤紀子、柳田雄三 矢作元昭、山岸聡、山岸朋美、山岸正彦、山岸弥生、山口直樹、山崎暁子、山崎綾子、山崎活司 山崎美恵子、山下茂、山下祐樹、大和裕也、山中弘子、山中幸男、山本勲、山本喜久治、山本幸子 山本紀子、山本稔、山本幸彦、山本義明、山本義治　**ゆ**；湯澤安治、結城智　**よ**；横井千恵子 横井泰夫、横田眞紀子、横塚秀夫、横塚ミドリ、横溝一男、横溝光男、吉岡重光、吉川武士 吉川仁、吉澤壽子、吉田一郎、吉田和男、吉田絹子、吉田照秋、吉田暉男、吉田洋、吉田善二 吉田秀明、吉田浩、吉田雅彦、吉村重和、吉村好子、依田修一、依田保之、米倉一美、米倉清美 米蔵孝、米澤康　**わ**；若居忠雄、若松至、鷲尾祐喜義、渡辺恒男、渡辺寛、渡辺やよい、渡邉彌 渡辺正己　**匿名**；A・A、M・S、O・S、H・I、S・C、S・O、S・T、M・K、M・T、M・F、M・K K・T、T・M、K・O、Y・I、S・T、S・M、T・N

《団体、順不同》

埼玉県私鉄労働組合連合会、東武バス労組、東武鉄道労組東上支部、同春日部支部、同洗草支部 朝日自動車労組、秩父鉄道労組、川越観光労組、国際十王交通労組、協同観光バス労組、国労大宮地区本部 同大宮工場支部、同大宮総合車両センター分会、同川越線駅分会、JAM金子農機労組、自治労埼玉県本部 同さいたま市職労、同県職労、同県本部書記労、同川越市職、同北企支部、同北本市職労、同熊谷市職労 同秩父市職、同久喜市職労、同小川町職労、同現業部会、同水道部会、同衛生組合部会、同青年女性部 同滑川町職労、同県競走労組、同県市町村職員共済組合職労、川越市退職者会、埼玉教職員組合 同南支部、同児玉・大里支部、同入間支部、同北企支部、同埼葛支部、同さいたま市教組、同川口教組 同川越教組、同入間北教組、埼玉退職教職員協議会、埼玉高等学校教職員組合、全農林埼玉分会 全水道さいたま水労、部落解放同盟埼玉県連合会、同児玉郡市協議会、同大里郡市協議会 同北埼玉地区協議会、同埼葛郡市協議会、同北足立郡市協議会、同入間郡協議会、同北企郡市協議会 社青同埼玉地区本部、同春日部支部委員会、埼玉県平和運動センター、川越平和センター 東部地区平和運動センター、比企西部地区労働組合協議会、比企地区憲法をいかす会 熊谷地区労働組合協議会、熊谷地区労働者福祉協議会、社民党埼玉県連合、同さいたま市支部 同浦和支部、同大宮支部、同大宮春岡班、同岩槻支部、同与野支部、同川口総支部、同上尾総支部 同桶川総支部、同鴻巣総支部、同川越総支部、同富士見支部、同坂戸総支部、同埼玉西部総支部 同小川総支部、同朝霞総支部、同熊谷総支部、同本庄・児玉郡総支部、同寄居総支部、同秩父総支部 同加須総支部、同久喜総支部、同春日部総支部、同杉戸総支部、同草加総支部、同越谷総支部 同吉川松伏総支部、同幸手総支部、がんばれ社民党埼玉ＯＢ・Ｇの会、(財)埼玉社会文化会館 久喜地方自治研究会、オリーブの会久喜、もろびと平和サークル、NPO法人 関東商工センター 原発いらない市民会議・上尾桶川、川辺よしのぶ後援会、新島みつあき後援会、ふりはたさとし後援会 さきたま新聞、九条の会・さいたま、桜区平和を考える会、鴻巣読書会

※ この広告は趣旨に賛同する多くの個人、団体の皆さんのカンパによって作られました。お名前を公表した以外の個人、団体からも多数のご賛同をいただきました。